

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 6 月 15 日 (2017.6.15)

【公開番号】特開 2016-73396 (P2016-73396A)

【公開日】平成 28 年 5 月 12 日 (2016.5.12)

【年通号数】公開・登録公報 2016-028

【出願番号】特願 2014-205006 (P2014-205006)

【国際特許分類】

A 4 7 L 9/28 (2006.01)

A 4 7 L 9/00 (2006.01)

【F I】

A 4 7 L 9/28 E

A 4 7 L 9/28 U

A 4 7 L 9/00 1 0 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 4 月 25 日 (2017.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

本体部と、
前記本体部に設けられる集塵部と、
前記本体部に配置される複数のバッテリーと、
を含んでなる自走式集塵ロボット。

【請求項 2】

本体部と、
前記本体部に設けられる集塵部と、
前記本体部に配置されるバッテリーと、
前記本体部の下部に設けられるキャストと、を備え、
前記バッテリーの真下に前記キャストを配置したことを特徴とする自走式集塵ロボット。

【請求項 3】

前記バッテリーは、ケースの内部に複数のセルを収容して前記本体部の後部又は前部に 2 つ配置され、前記キャストも、前記本体部の後部又は前部に 2 つ配置されることを特徴とする請求項 2 に記載の自走式集塵ロボット。

【請求項 4】

前記本体部の後部に、当該後部の底面が前記本体部の前部の底面よりも高くなる切欠部が形成されることを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の自走式集塵ロボット。

【請求項 5】

前記集塵部は集塵用モータを備え、前記バッテリーは、前記集塵用モータを挟んで左右に配置されることを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れかに記載の自走式集塵ロボット。

【請求項 6】

本体部と、
前記本体部に設けられる集塵部と、
前記本体部に配置されるバッテリーと、
前記本体部の下部に設けられる複数のキャストと、

を含んでなる自走式集塵ロボット。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するために、請求項 1 に記載の発明は、本体部と、本体部に設けられる集塵部と、本体部に配置される複数のバッテリーと、を含んでなることを特徴とするものである。

上記目的を達成するために、請求項 2 に記載の発明は、本体部と、本体部に設けられる集塵部と、本体部に配置されるバッテリーと、本体部の下部に設けられるキャストと、を備え、バッテリーの真下にキャストを配置したことを特徴とするものである。

なお、ここでいう「真下」とは、平面視でバッテリーの外形内にキャストの全体が収まる場合は勿論、バッテリーを中心に加わる本体部の荷重を支持できる位置であれば、平面視でキャストの一部又は全部がバッテリーの外形からはみ出すような場合も含まれる。

請求項 3 に記載の発明は、請求項 2 の構成において、バッテリーは、ケースの内部に複数のセルを収容して本体部の後部又は前部に 2 つ配置され、キャストも、本体部の後部又は前部に 2 つ配置されることを特徴とするものである。

請求項 4 に記載の発明は、請求項 2 又は 3 の構成において、本体部の後部に、当該後部の底面が本体部の前部の底面よりも高くなる切欠部が形成されることを特徴とするものである。

請求項 5 に記載の発明は、請求項 1 乃至 4 の何れかの構成において、集塵部は集塵用モータを備え、バッテリーは、集塵用モータを挟んで左右に配置されることを特徴とするものである。

上記目的を達成するために、請求項 6 に記載の発明は、本体部と、本体部に設けられる集塵部と、本体部に配置されるバッテリーと、本体部の下部に設けられる複数のキャストと、を含んでなることを特徴とするものである。